

NPO法人 ナルク (NALC) 埼玉西

さい さい
彩 西

—第 243 号—

【発行】NPO(特定非営利活動)法人

ナルク(NALC)埼玉西

【事務局】〒359-1106

所沢市東狭山ヶ丘 1-45-17

田淵頼孝(代表)方

Tel 04-2926-9787

email tabutuchiyoritaka@gmail.com**NPO 法人ナルク埼玉西拠点 2023 年度定時総会****4年振りに会場（新所沢公民館）で開催します！****対面での顔合わせで、懇親を深めましょ****日時 6月11日（日曜日）午前11時30分～****（昼食を準備します）**

一人でも多くの会員の参加をお待ちします。

顔と顔を合わせ、心合わせして、楽しく語り合いましょう！

お楽しみプレゼント交換会も行います。

新型コロナウイルスによる閉塞感がおよそ3年間続き、拠点の定時総会も3年間にわたり書面で採択の方式を余儀なくされました。

思えば、2019年(令和元年)6月9日の新所沢公民館で総会を開催し、最後に西武地区関野会員から東京大空襲の惨事の模様をお聞きして散会しました。その後、ナルクでの活動も大きく制約を受けました。コロナも終息したとは言い難いですが、徐々に日常生活が戻りつつあります。マスクを装着し、手洗い消毒、体温管理をして万全の対応をしてご参加下さい。

ナルクでは何と言っても顔合わせに勝る活動はありません。

当日は、総会議事終了後に飯田相談役と可児会員のお話しをお聞きます。

その後にはお楽しみプレゼント交換会も開催します。

そこで参加者の皆さんには商品の出品をお願いします。ご自宅で眠っているお品物があればお持ちいただけると有難いと思います。どんなものでも構いません。また強制するものでもありません。

その他詳しくは、議案書をご覧ください。

同封の出欠ハガキ(委任状)の投函もよろしくお願ひします。 **6月5日(月)まで**

NPO 法人ナルクの存在感を坂戸市民 10 万人強に披露

3月18日(土) 坂戸市入西地域交流センターを会場に

ナルクのノボリ旗を掲げ、ナルク紹介のパネル3点を展示

コロナ禍での3年間。対面でのナルク活動は、大幅な規制のもと、足踏み状態でした。それが、令和5年を迎えて、一部、対面での活動が再開され、ナルク埼玉西拠点東上地区では、坂戸市で3月18日(土)に開催が準備された令和4年度坂戸市の「市民活動フェア」に参加し、多くの市民の皆さまに【ナルク活動の生の姿】を直接披露してきました。

参加団体は、市内でボランティア活動を展開する26のNPOや団体で、参加団体一覧には、NPO法人ナルクがトップに紹介され、市内各所に2500枚のチラシを配布、284枚のポスターを掲示、注目度も上がりました。

会場は10万都市坂戸市入西(につさい)地区にできた「入西地域交流センター」で、全館を貸し切り、それぞれの団体・組織が各1小間を担当、展示、販売、体験、交流、ステージ披露など、賑やかに、和やかに、和みあいのフェアが展開され、朝から夕刻まで、多くの市民が親子連れ、友人ら連れだって参加、ボランティアの魅力を体験して頂きました。

ナルクは、フェアのクイズラリーにも参加。最大の売りものである【時間預託】を問題として提起
ナルクの特徴は、じかん預託制度ですが、【じかん】とは、次官、時間、字間のいずれですか・?
クイズラリーに参加してくる親子らには、ナルクってなあーにチラシを配布し、売り込みました

会場には、ナルクのノボリを掲げ、わかり易いナルクの活動一とりわけ【時間預託制度】の素晴らしさを3点のパネルで展示、大いにPRしようとナルク埼玉西拠点の代表、事務局長、会員らを先頭に意欲的に準備、入会案内などを参考にナルク活動を紹介、説明に汗を流しました。中には、ナルクのこと耳にしている気になっていたが、内容まで分かって有難い。定年リタイアを近く迎えるので、大いに学ばせてもらうなど嬉しい声を聞きました。

ナルク2023年度事業計画の柱の1つ「地域と連携し全拠点を挙げてナルクデーの実行」の一環

ナルク本部の2023年度事業計画案の柱の1つである「地域と連携し全拠点を挙げて“ナルクデー”を実行しよう」と「行政とも連携し“安心のナルク”の実現を」の一環として、ナルク埼玉西拠点は参加。事実、会場には市長や市議、市の市民生活課役職員、社会福祉協議会の役職員、地域包括支援センターの方々も顔を出し、同時に参加している26のボランティア団体の役職員も興味をもって、ナルクの時間預託制度の素晴らしさを学ぶ姿も見られ、まさに市民の中に溶け込んだ市民活動フェアとなり、ナルクデーの一環としても成果が上がったと自負しています。